

a) 薜齒はよく發達し殆んど中央部に於て2裂す。植物體壯大。葉長 7 mm *D. nippone*
 b) 薜齒は殆ど 2/3 裂。植物體褐毛よく發達し、葉長 5 mm, 葉の細胞中に大小不同なる空胞 (?) 1-3 個あり *D. Ikegamii*

B) 薜齒に縱溝なし

a) 薜齒は殆ど中央部に於て 2-3 裂。葉長 5 mm 以下

- a) 葉は斜上、子囊は卵状橢圓 2.5 mm *D. Osadae*
- b) 葉は直上、子囊は卵状橢圓 2 mm *D. Faurei*

b) 薜齒は中裂するも上部に於て癒着すること多く且つ隔柱縦に交通す。
 葉は撒開 5 mm 以上、子囊は圓錐狀 4 mm 弯曲す *D. pogonoides*

VII Pseudo-Chorisodontium 薜齒の發育不充分なる一群で邦產として次の2種がある。

A) 植物體剛 *D. orthothecium*
 B) 植物體柔 *D. Sakuraii*

附 記: (1) ミヤマカモジゴケの原記載に肋背平滑とあるは誤で鋸き歯牙あるを普通とす。このことは J. Cardot の私藏書中に既に訂正してあることでも分る。

(2) *D. leiodontium* Card. 及 *D. symblepharoides* Card. の本態ははつきりしないので後日の研究に譲る。

(3) *Brotherus* はケシッポゴケを *Kiaeria* 屬に編入するも余の見る所では本品はカモジゴケと比較すべき種と考へる。

(4) *Brotherus* はスグシッポゴケを *Orthodicranum* に編入するも余はタカネコシッポゴケと比較すべきものと考へる。

(5) Dixon と共に新種として發表した *D. perstrictum* Dix. et Sak. はスグシッポゴケと同一品であり、又 *D. pseudo-Bergeri* Dix. et Sak. はナガエノシッポゴケと區別困難なのでその異名とする。 (續)

正 誤 Errata

	誤 for	正 read
p.184 l. 1	<i>Coroniilla</i>	<i>Coronilla</i>
p.348 l. 1	外來草	外來雜草
l. 2	eweds	weeds